

食品安全関係情報(1月10日 ~1月30日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

1月10日 ~1月30日 収集件数 (合計127/117件) (前回12月20日 ~1月9日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (6/7件)	米国 (9/7件)	カナダ (4/11件)	EU、EFSA (25/28件)	各国 (27/26件)	FSANZ等 (2/4件)	中国 (20/5件)	各国 (11/3件)	各国 (0/1件)	報道、論文等も含む (23/25件)
化学物質 (39/26件)	化学物質・汚染物質 (8件)	0	0	0	2	2	0	3	1	0	0
	食品添加物 (6)	0	0	1	2	0	0	1	1	0	1
	農薬 (12)	0	5	0	4	2	0	0	1	0	0
	動物用医薬品 (3)	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	器具・容器包装 (6)	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1
	その他 (4)	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
	計 (39件)	1	5	1	11	9	1	4	4	0	3
微生物・プリオン・自然毒 (53/48件)	細菌 (9件)	0	2	0	0	5	0	1	1	0	0
	ウイルス (20)	2	0	2	0	3	0	6	4	0	3
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (15)	1	1	0	1	4	0	1	0	0	7
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (7)	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1
計 (53件)	5	3	2	2	13	0	11	5	0	12	
新食品等 (11/12件)	新食品 (1件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	GMO (6)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
	健康食品 (3)	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (11件)	0	1	1	2	2	0	0	1	0	4	
肥料・飼料等 (7/1件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (7)	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (7件)	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
その他 (17/30件)	表示 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	栄養 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (13)	0	0	0	3	2	1	5	1	0	1
	論文情報 (2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計 (17件)	0	0	0	3	3	1	5	1	0	4
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(1月10日～1月30日収集分 127件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、魚介類/水産物中のメチル水銀のリスクと比較した魚介類/水産物摂取の便益に関する声明書を公表
- ・ 英国食品基準庁(FSA)、英国国民に対する、魚の摂取に関する助言を行った
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、EFSAが、現在のBPAのばく露量がヒト健康リスクとなるには低すぎるとするものの、TDIを相当引き下げることがを勧告したと公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 国際獣疫事務局(OIE)、ノルウェーでのBSE牛発生に関する情報を公表
- ・ 欧州疾病予防管理センター(ECDC)、欧州食品安全機関(EFSA)及び欧州医薬品庁(EMA)、抗菌性物質の消費及びヒト及び食料生産動物由来の細菌における薬剤耐性出現に関する総合分析報告書を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)及び 欧州疾病予防管理センター(ECDC)、2013年における人獣共通感染症、人獣共通感染症病原体、集団食中毒の傾向及び原因に関する欧州連合(EU)概要報告書を公表
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)
 - ・ ヒトへのBSE感染リスクから見たSRM除去に関連するリスク評価に関する文書を発表
 - ・ 伝達性海綿状脳症(TSE)の抑制対策における特定危険部位(SRM)の処理に関する報告書を発表
- ・ 米国食品安全検査局(FSIS)、家きん製品のサルモネラ属菌及びカンピロバクターの低減対策を発表

【その他】

- ・ 欧州委員会(EC)保健衛生・食の安全総局(DG SANTE)、健康消費者保護総局(DG SANCO)を保健衛生・食の安全総局(DG SANTE)に改名し、組織も改変した旨公表